# メカジキのたて縄漁業に関する講習会

(伊平屋村漁協)

# 水産海洋技術センター本部駐在 上原匡人

## 1. 目的および背景

メカジキは、メカジキ科メカジキ属に属する **魚類であり、インド・太平洋,大西洋および地** 中海など熱帯域から温帯域におけて広く生息 している。水産総合研究センターによる中西部 北太平洋におけるメカジキ資源の評価は、健全 (高位・安定) とされていることから、近年、 沖合漁業の対象種として再注目されている。沖 縄県でも、以前より漁業者間の交流のあった小 笠原からメカジキのたて縄漁法の情報提供が あり、新垣哲司指導漁業士らを中心に漁具の改 良や漁場の探索等が進んでいる。このような状 況の中、伊平屋村漁協では、近年、曳縄、一本 釣り、たて縄など沖合漁業に興味・関心をもつ 若い漁業者が増えており、沖合漁業に関する学 習や交流の機会が求められている。そこで、伊 平屋村漁協の漁業者を対象としたメカジキの たて縄漁業に関する講習会を実施し、漁業者の 知識や技能の向上を図ることを目的とした。

#### 2. 講習日程

本講習会は、下記の日時と場所において開催 され、海人 6 名、漁協職員 2 名の計 8 名が参 加した。

日 時: 平成28年2月19日

場 所:伊平屋村漁協会議室

なお、当初は、名護漁協の岸本幸二青年漁業 士を招聘して技術交流を兼ねた講習会を計画 していたが、台風(平成27年9月28日)と 冬季風浪(平成28年1月25日)による定期 船の欠航で2回の延期を余儀なくされており、 計画を一部変更して講義スタイルの講習会と なった。

### 3. 講習内容

### (1) メカジキの資源生態

はじめに、カジキ類の種類やメカジキの成長、 寿命、産卵期など生物特性について概説した。 次に、バショウカジキやクロカジキで報告され ている吻を利用した採餌行動とメカジキの胃 内容物組成の季節変化について紹介し、日周鉛 直運動や水平移動についても言及した。これら の内容は、漁具の仕立てや操業に関わる内容で あったことから、参加した海人は興味深く聴講 していた。

#### (2) メカジキのたて縄漁業

前述の生物特性や行動生態を踏まえて、下記 の項目について概説した。

- ①メカジキのたて縄漁業の導入経緯
- ②沖縄型のメカジキのたて縄漁具の仕立て
- ③小笠原海域および沖縄海域での試験操業 の結果
  - ④漁獲量および単価の推移
- ⑤メカジキの重量別および季節的な脂質の 変化
  - ⑥県内および県外流通の現状と課題

なお、沖縄海域での試験操業のデータは、海 洋資源・養殖班の平手康市班長より提供して頂 いた。この場を借りてお礼申し上げる。

#### 4. 参考文献

Lee (2015) メカジキはなぜ漁師を刺し殺したのか. National Geographic 日本版ホームページ

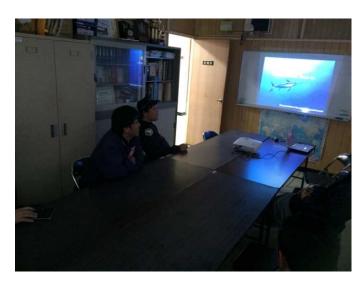
( http://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/1 5/060400132/)

Domenici P, Wilson ADM, Kurvers RHJM, Marras S, Herbert-Read JE, Steffensen JF, Krause S, Viblanc PE, Couillaud P, Krause J (2014) How sailfish use their bills to capture sxhooling prey. Proc. R. Soc. B, 281: http://dx.doi.org/10.1098/rspb.2014.0444 平手康市・加藤美奈子(2014)沖縄県におけ

る新たな漁業「メカジキたて縄漁業」. 沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究会ニュースレター, 14:2-3.

山口邦久(2011)小笠原諸島海域におけるメカジキの生態と漁業.東京都水産海洋研究報告,4:1-28.

Shimose T, Yokawa K, Saito H, Tahichara K (2007) Evidence for use of the bill by blue marlin, *Makaira nigricans*, during feeding. Ichthol. Res., 54: 420–422.



メカジキのたて縄漁業の講習会の様子